



いしかわ労福協

第 594 号 2017年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

— 第3回理事会 —

各委員会委員の選定

蘇州市総工会への訪問に向けて



労福協は、7月5日(水)フレンドパーク石川において役員13名の出席で第3回理事会を開催した。

6月の通常総会後の組織理事会以後、新たな布陣にて今後の労福協を運営していくため、各種委員会の構成や対外役員等への就任決定のため開催し、労働者福祉基金管理運営委員会などの委員会委員が承認された。

西田満明理事長は、「各団体、各地域ライフ・サポートセンターの総会は、残すところ1団体・

1LSCとし、新体制となった各団体においても活動を活発化しつつある。また、連合石川、北陸労金石川県本部、全労済石川県本部、労福協で構成する4団体懇談会の活動を推し進めるべく、労働者自主福祉運動の推進をより実効性のあるものとする取り組みとして、現在、学習会に着手し、各団体が連携を深めている。」と挨拶した。

次年度の自治体への政策制度の要請に向けて、中央労福協が示す要請概要を踏まえ、当労福協の要請事項を検討していくことを提起した。さらに、中央労福協の要請概要にない事項でも、当労福協の要請内容に含みつつ、内容の吟味を進めていくことを確認した。

本年度に予定する中国蘇州市総工会への訪問については、予定していた日程での受け入れが困難になったとの蘇州市総工会からの連絡を受け、訪問日程を前倒しし、8月23日(水)から28日(月)までの期間に変更することを確認したほか、各種会議への参加を決定した。

各委員会の構成

<労福協人事委員会>

委員長 西田 満明 労福協理事長、連合石川会長
委員 柚木 光 労福協副理事長、北陸労金石川県本部長
委員 光林 邦彦 労福協副理事長、全労済石川県本部長
委員 湊口 洋伸 労福協理事、連合石川事務局長
委員 船塚 俊克 労福協理事、連合石川副会長
委員 福田 佳央 労福協理事、連合石川副会長
委員 中川 博 労福協専務理事

<福祉基金管理委員会>

委員長 西田 満明 労福協理事長、連合石川会長
委員 新谷 徹 石川県商工労働部労働企画課長
委員 東田 真澄 金沢市経済局労働政策課長
委員 柚木 光 労福協副理事長、北陸労金石川県本部長
委員 光林 邦彦 労福協副理事長、全労済石川県本部長
委員 宮下 亮 労福協理事、労信協理事長

委員 横山 和男 労福協理事、県生協連会長理事
委員 湊口 洋伸 労福協理事、連合石川事務局長
委員 中川 博 労福協専務理事
事務局 上野 貞彦 労福協事務局長

<事業団体連絡会議>

委員 溝田 勝 労福協理事、北陸労金石川県本部副本部長
委員 後本 康裕 労福協理事、全労済石川県本部専務執行役員
委員 久富 象二 労信協専務理事
委員 青海万里子 県生協連専務理事
委員 福村 滋 勤体協事務局長
委員 西尾 茂人 労福協理事、勤文協事務局長
委員 宅本 門示 労福協理事、さわやかU事務局長
委員 中川 博 労福協専務理事
事務局 上野 貞彦 労福協事務局長

ろうふく“むすび”ネット

7月15日(土)第12回ろうふく・むすび・ネット「恋を見つけて summer ランチパーティー」を、金沢市西念にある和風中華・招龍亭にて開催した。参加したのは、石川県内の働く独身男性15名、女性13名、合計28名。

自己紹介タイムの後に、もう一度お話をしたい相手を、女性参加者を選んで投票してもらう中間集計方式で行い、意中のお相手とゆっくり話をさせていただきました。その後フリーランチタイムで、おなか一杯食事を楽しんでから、最

終の投票を行い、3組のカップルが誕生しました。素敵な交際を続けていただけましたら事務局も幸いです。



2017年度第1回事業団体連絡会議



労福協は、7月19日(水)第1回事業団体連絡会議をフレンドパーク石川において開催した。

会議には、北陸労金石川県本部をはじめとする7団体から5名が参加し、県内各自治体の2018年度における政策などについての要請内容、行動のあり方などを協議した。

冒頭、中川博専務理事が、「働く人のみなら

ず生活者が、日々、安心して暮らせる世の中となるような政策の充実に向けて、昨年度に引き続き、または新規に要請すべき事項を精査・取りまとめて、各自治体に働きかけていきたい。要請内容に対する意見や要請行動に対するご協力を願う。」と挨拶した。

本年度における要請行動のあり方を了承した後、各団体からの要請内容については、ほぼ昨年度における要請に大きな変更はなく、例年通りの内容となることを確認した。また、要請は無いものの、過年度までの支援に対する報告資料についても同様に確認した。

労福協を主体とする政策面での要請では、時世に応じた内容を追加・変更など調整しつつ要請案を策定することを確認し、次回の会議において、更に吟味するとともに、労福協理事会の承認を経て成文化することとして、会議を終えた。

これからの行事予定

(7月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
7月25日	火	中央労福協 事業団体・地方労福協合同会議 (～26日)	東京都
27日	木	労福協 LSC 福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会	フレンドパーク石川
28日	金	第22回フレンドパーク石川運営委員会	〃
31日	月	全労済石川代表者会議、石川県勤労者共済生協通常総代会	労済会館
8月3日	木	労福協 第15次日中友好訪問代表団 事前説明会	フレンドパーク石川
〃	〃	食みどり水 NW 幹事会	連合石川
5日	土	金沢 LSC 退職前セミナー	フレンドパーク石川
7日	月	中部労福協 第5回労働者福祉運動の理念、歴史、リーダー養成講座 (～8日)	三重県
10日	木	労福協 第3回三役会議	フレンドパーク石川
18日	金	〃 第4回理事会	〃
22日	火	第2回事業団体連絡会議	〃
23日	水	第15次日中友好訪問代表団 (～28日)	中国・蘇州ほか
30日	水	中部労福協 第2回幹事会 (～31日)	京都市
〃	〃	中央労福協 新公益法人制度に関する研修・情報交換会	東京都
9月7日	木	中部会館協 第1回幹事会	仙台市
〃	〃	全国会館協 第47回定期総会 (～8日)	〃
21日	木	中央労福協 第4回地方労福協会議 (～22日)	大阪市

労働者自主福祉運動推進会議



金沢地区

連合石川は、北陸労金石川県本部、全労済石川県本部、労福協と連携し、連合石川第1回労働者自主福祉運動推進会議を6月20日(火)の金沢地区会場を皮切りに県内4地区会場において開催した。

この会議は、労働者自らの福祉向上や生活安定等のために設立した、労働者自主福祉事業である労働金庫、全労済の事業を推進することで、労働者個人々の可処分所得の増大と生活の安定を図り、ひいては労働運動の活性化と労働組合の発展に繋げていくことを目的とするもの。

この会議を通じて、何故、労金や全労済が生まれたのか、何故、労金や全労済が必要なのかを復習することで、運動として取り組んできた労金・全労済の重要性を再認識し、それぞれの運動の推進に繋げようとしている。

石川県内の皮切りとなった金沢地区での会議は、募集期間から間もない6月20日(火)フレンドパーク石川において約70名の参加者で開かれ、講師の山本幸司中央労福協福祉運動推進アドバイザー(元中央労福協副会長)が、「労働



能登地区

者自主福祉事業が必要となった背景、立ち上げ当時の労働運動闘士等の苦悩、これまでの貢献とこれからにおいても重要な労働者自主福祉事業である理由を現在・将来における人口動態や経済動態など様々な角度から解説し、今後も労働者福祉事業の取り組みが重要であり、継続推進することが、労働者福祉の向上のみならず、超少子高齢社会を目前とする日本において求められる事業である」と講演し、労働金庫、全労済の事業を推進することの必要性を説いた。

講演後には、北陸労働金庫石川県本部の柚木光本部長と全労済石川県本部の光林邦彦本部長が、事業への理解と協力を求めた。

この会議は、県内各地域でも開催され、金沢地区と同日の夕刻に七尾市のサンライフプラザ七尾において七尾・鹿島・羽咋地区、7月4日(火)能登町の柳田山村開発センターにおいて能登地区、7月10日(月)小松市のホテルサンルート小松においてかが地区の、それぞれ各地域の労働者への学習会となった。



七鹿羽咋地区



かが地区

北陸労働金庫第16回通常総会



6月23日(金)石川県立音楽堂において、北陸労働金庫第16回通常総会が代議員235名出席のもと開催された。

冒頭、馬場修一理事長より、「日頃より北陸労働金庫の事業活動に対するご理解とご協力いただいていることに御礼申し上げます。2016年度は、第5期中期計画の最終年度でもあったことから、前年度に引き続き、『ガバナンスを重視した経営管理』と『価値づくり』活動による金庫改革を事業戦略の基本として捉えとともに、堅固なる収益基盤の確立、未来に向けたインフラの整備、〈ろうきん〉らしい金融サービスの提供、連帯と協働、信頼される人財育成・人事制度の再構築、内部管理態勢の強化という課題を掲げ、取り組みを進めてまいりました。堅固なる収益基盤の確立への取り組みでは、1年を通じて創立15周年を冠としたキャンペーンを展開し利用拡大に繋げてきました。そして、将来にわたり北陸労働金庫がその使命を果たし

ていくためにはどうあるべきかを議論いただくために『北陸労働金庫あり方検討委員会』を設置し、安定した事業運営を継続的に行い、会員・組合員とともに共存していくための議論を進めてきました。今後も会員・推進機構と〈ろうきん〉がこれまで以上に『協働』して会員・組合員の皆様に喜んでいただけるような商品・サービスを提供し続けて参ります。」と挨拶があった。

理事長挨拶の後、来賓の普赤清幸石川県商工労働部長、西田満明連合石川会長、連合富山・連合福井会長、北陸三県の労福協代表が紹介され、普赤石川県商工労働部長と西田連合石川会長が祝辞を述べた。

続いて、報告事項として、「2016年度業務報告」、「2016年度計算書類報告」、「監査報告」が行われた。2016年度事業概況では、預金は181億3百万円増加し、期末残高は7,343億3百万円に、融資は8億73百万円減少し、期末残高は4,016億66百万円となり、税引き後の当期純利益が、6億29百万円との報告があった。

続いて、議案審議にて、年4%を配当とする「2016年度剰余金処分案」、2017年度からの「第6期中期計画」、「2017年度事業計画」、内計数計画として預金残高増加額90億円、融資残高増加額20億円ならびに融資新規実行額560億円、当期純利益3億50百万円、そして「役員選任」などの議案が提案され、すべての議案が承認された。

最後に、「安心してご利用いただける商品・サービスを提供し、働く人の夢と共感を創造しよう！」等の総会スローガンが採択され閉会した。

〈ろうきん〉で年金資産づくり

『個人型確定拠出年金』 iDeCo

安心な未来に向けて、

あなたが、いまできること・・・

個人型確定拠出年金には、3つの税制優遇があります。

詳しくは、最寄りの営業店または北陸ろうきんホームページまで!!



個人型確定拠出年金:愛称「イデコ」

全国会館協議会第3回幹事会

全国会館協(全国労働者福社会館協議会)は、7月13日(木)から14日(金)の日程で2016年度第3回幹事会を滋賀県守山市のRiseville都賀山で開催した。

幹事会は各ブロック代表となる幹事ら役員全員が参加して開かれ、事務局からの中央労福協会議等の取り組み報告に続き、ほぼ出揃った会員の2016年度決算を踏まえた業況報告が各ブロック代表より行われ、情報の交換と意見交換を行った。

会員には、大震災以降の風評被害で依然として客足が戻らないほか、主たる事業の競合激化で利用客離れに歯止めが利かないなど、厳しい

経営状況が続いている報告がされた。また、経営の立て直しにおいて、主たる事業の根本的見直し、会館建て替えなどを検討する会員があると、各ブロックから報告された。

来る9月に開催する第47回定期総会後に予定する役職員研修会について協議され、当初予定した2会員会館からの事例報告については、予定した会員会館の事情により報告が難しくなったため、1会員会館が取り組んだ「事業立て直しに向けた事例報告」を講演いただき、その取り組みについての意見交換を行うことを軸として研修を行うことを決定した。さらに、総会以降における事業予定を内定し、総会・研修会への準備を進めた。

連合石川総研理事会・第19回定期総会



連合総研(連合石川総合生活開発研究センター)は、7月18日(火)フレンドパーク石川において、2017年度第1回理事会を開催し、引き続き第19回定期総会をも開催した。

理事会には役員19名が参加し、6月に開催した臨時理事会の決議を受けて、今日までの取り組みと本日15時に開催する定期総会における提出議案と役割分担について協議した。特に、この間における会計について、年度毎に締めて監事監査を受け違算なく適正に処理されていることが確認されたことや、組織運営面での諸会議以外では毎年活動を実施してきたことが報告された。

定期総会は、34名が参加して定刻に開始され、西田満明副理事長が「日本の近い将来において、大幅な人口減と少子高齢による人口構成の変化が予想されている。このような時代にお

いても将来が見通せる世の中への道筋を見出し、いく上でも、連合石川総研の仕組みは必要である。」との開会挨拶のあと、打出喜代文理事を議長に選出し議事を進行した。

澤信俊理事長が、「ここ数年間、活動報告する機会を設けてこれなかったことに深謝する。地方連合がシンクタンクを有し、その成果を活動に活かしている。それも四半世紀に渡って活動を続けていることは、誇らしいものであり、今後も将来の労働組合に資する組織として、皆さんのご意見なども伺いながら活動を継続していきたい。」と代表挨拶を行った後、議案が審議された。

事務局より提案された議案は提案どおり可決したほか、役員改選が行われ、澤理事長を筆頭にした布陣を確認し、今後の取り組みを約した。

叶秋男副理事長が、「若者が未来を展望し、切り拓いて行ける世の中とするため、連合石川総研の活動を展開していきたい。」と結びの挨拶をして、総会を終えた。

新たな主要役員

理 事 長	澤	信俊
副 理 事 長	叶	秋男、西田 満明、
	高嶋	祐子
専 務 理 事	宮本	一二
事 務 局 長	湊口	洋伸
事 務 局 次 長	村上	睦

勤 体 協



2017 能登島ロードレース

7月2日(日)七尾市能登島で「ひょっこのりとじま・2017 能登島ロードレース」が、地元をはじめとした多くの市民ボランティアの協力により開催された。

昨年はスタートするまで雨が降り、今年は前日が大雨で大会開催が心配されたが、当日には雨が上がるも、石川県特有の高温多湿の風の強い中で、全国31都道府県から1,756名の選手が参加し、ハーフマラソン、10kmのコースに分かれ、計8部門でそれぞれ日頃のトレーニング成果を発揮した。

7月2日・七尾市能登島特設コース

▷ 1部(10km男子18～49歳)

- ①山吹 昌寛(能美市) 33分6秒
- ②柴田 太志(南砺市) 35分45秒
- ③原田 歩(金沢市) 36分8秒

▷ 2部(10km女子18～49歳)

- ①坂口 瑛(高岡市) 40分7秒
- ②細川 由利(白山市) 42分47秒
- ③小山奈津子(千葉県) 45分33秒

▷ 3部(10km男子50歳以上)

- ①宮崎 忠勝(富山市) 37分4秒
- ②内田 武史(大阪府) 38分16秒
- ③水野 敏博(富山市) 40分3秒

▷ 4部(10km女子50歳以上)

- ①福田恵美子(富山市) 45分44秒
- ②吉田 詩子(白山市) 47分24秒
- ③前沢 京子(富山市) 47分43秒

▷ 5部(ハーフ男子18～49歳)

- ①高沢 圭輔(白山市) 1時間15分1秒
- ②鈴木 聖夫(愛知県) 1時間15分11秒
- ③音 信之介(金沢市) 1時間15分40秒

▷ 6部(ハーフ女子18～49歳)

- ①中島 麻理(金沢市) 1時間41分48秒
- ②手塚阿津子(金沢市) 1時間42分30秒
- ③中橋 光恵(白山市) 1時間45分39秒

▷ 7部(ハーフ男子50歳以上)

- ①多間 利一(珠洲市) 1時間27分5秒
- ②木下 孝浩(富山市) 1時間27分39秒
- ③倉地 修(愛知県) 1時間27分53秒

▷ 8部(ハーフ女子50歳以上)

- ①古家 雅恵(滋賀県) 1時間34分34秒
- ②小木曾小百合(岐阜県) 1時間44分50秒
- ③船屋志保子(黒部市) 1時間50分29秒

第50回県勤労者夏季体育大会

《ソフトボール七尾大会》

7月16日・七尾市二枚田グラウンド

- ①前田一寸法師 ②七尾海陸運送
- ③七尾壮年、JA 能登わかば

《バスケットボール大会》

7月23日・野々市市民体育館

◇シニア

- ①馬場ちゃんず ②ゴールド ③オータムボーイズ

◇女子1組

- ①CHOCO キムチ
- ②NEC ソリューションイノベーター

第46回 石川県勤労者
絵画・陶芸展のご案内作品
募集中開催日 9月15日(金)～9月18日(月・祝)
午前10時～午後6時(最終日 午後1時00分まで)

会場 しいのき迎賓館 ギャラリーA

作品受付 9月2日(土) 午前10時～午後4時
3日(日) 午前10時～午後1時
フレンドパーク石川 3F 会議室(西急3-3-5)

主催 石川県勤労者文化協会

後援 北越新聞社・石川県勤労者福祉協議会

参加資格 県内に働く勤労者・家族・高齢者などでアマチュアであること。
絵画・陶芸の愛好家が制作した作品の発表の場です。(学生は不可)

問い合わせ先 石川県勤労者文化協会

☎ 076-231-1746